

科目名	ドイツ語会話 I	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	越智 フェリシタス	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

ドイツ語基礎で習得した文法知識をもとに、日常生活に役立つ実践的な会話のパートナー練習を繰り返すことを通し、表現力と語彙力を高めることを目標とします。さらに細かなニュアンスの違いを理解し、またそれを表現できるようにします。実際にドイツに行った場合でも、ためらわずドイツ語を話せる自信と能力を養います。同時にドイツと日本における文化の違いを視野に入れた異文化理解への洞察力を深めます。

＝履修の条件と学習の方法＝

会話を高める第一歩は、躊躇せずにドイツ語を声に出し、それを楽しむ姿勢が肝要です。授業時間は限られているので、各自家で文法の復習や短い会話を暗記することは必須条件です。さらに文字に頼らずドイツ語を使って積極的に話すことが授業への参加条件です。リアルタイムで報道されるドイツについての興味深いテレビ番組や新聞記事などがあれば、授業で紹介してもらい、それをテーマに会話を発展させます。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 空港での出迎え：人称代名詞と規則動詞の現在人称変化
- 3回 ミュンヘン市内までのドライブ：名詞の性・定冠詞と不定冠詞の格変化
- 4回 ホストファミリーの紹介：sein, haben と werden の現在人称変化
- 5回 ホストファミリーの住まい：名詞の複数形と格変化
- 6回 クラスメイトとの会話：不規則動詞の現在人称変化・命令形
- 7回 語学学校のコース主任との会話：人称代名詞の3格と4格・疑問代名詞
- 8回 前半のまとめ・ドイツ人の生活を描くドキュメンタリー映画鑑賞
- 9回 ドーナウ川での散歩Ⅰ：前置詞の格支配
- 10回 ドーナウ川での散歩Ⅱ：定冠詞類、不定冠詞類
- 11回 レストランにてⅠ：否定文・否定の疑問文の答え方・男性弱変化名詞
- 12回 レストランにてⅡ：接続詞
- 13回 郵便局にてⅠ：分離動詞・非分離動詞
- 14回 郵便局にてⅡ：話法の助動詞
- 15回 春学期のまとめ・復習

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業中の平常点と学期末に行う筆記試験を、以下の割合で総合的に評価する。

- ・平常点（80％）の内訳：毎回の出席状況：20％、授業に意欲的に貢献しているか：10％、ドイツ語の発音、アクセント、イントネーションの正確さ：30％、ドイツ語による質問を正しく理解し、それに答えられる力：40％
- ・学期末筆記試験：20％

＝テキスト（必携）＝

書籍名：ドイツってすてき！

著者名：荻野蔵平 Andrea Raab

出版社：朝日出版社

出版年：2011年

価格：2600円＋税

ISBN978-4-255-25286-5